

設計自動化によるコスト削減と収益性の向上

概要

設計自動化を実現することにより、特注製品の製造業者は何日もかかるカスタム開発工程を数分以内に完了できるようになります。また、設計自動化により個別の販売プロセスに含まれる事実上すべての要件、すなわち SolidWorks® モデル、図面、見積書、製造データなどの作成を効率化し、容易にします。



今日、ほとんどの産業において利益幅は小さく、この傾向はさらに続くと思われる。利益幅が比較的大きな産業部門でさえも競争とグローバルアウトソーシングによりコスト削減を余儀なくされています。これまでは、コストのかかる開発が利益幅を下げる大きな要因となっており、開発業務の所要時間やコストを削減するために数多くの試みが行われてきました。これらのアプローチの多くはポイントソリューションであり、それぞれの重要性は高いものの、全体には適用できないものでした。これに対して、設計自動化は明確に定義され十分に検証された開発業務範囲のコストを大幅に削減する効果的な手段として際立っています。これは、迅速かつ正確な見積、矛盾のない開発、そして何よりも最短時間での完成品の納品を必要とする事業の場合は特に当てはまります。

設計自動化の推進

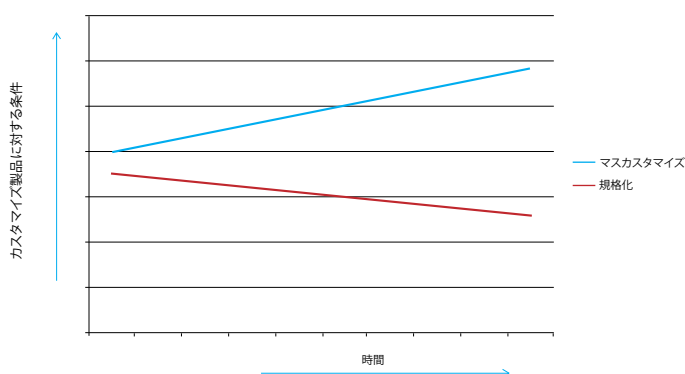
大半の企業は、設計のコストを削減するという目標を共に掲げています。これまで、次の2つの選択肢がありました。(1) 設計量を減らして製品範囲を標準化する (2) 設計のスピードを上げる、の2つです。

顧客の選択肢を限定したい場合は、前者の方法でもかまいません。しかし、ここ数年間で製品のカスタマイズに対する需要は急速に拡大しています。最近行われたCincomの調査によると、73%の回答者が\$100,000(約1,200,000円)を超える製品のカスタマイズは不可欠であると考えており、25%の回答者が\$1,000(約120,000円)以下の製品でもカスタマイズはきわめて重要であると考えていました。

この傾向は高まる一方です。Cincomの調査は、63%のエンジニアが過去5年間にカスタマイズ製品に対する要求が高まっていることを認識しており、26%のエンジニアが次の2年間の成長率は25から50%の間になるだろうと予想していることを明らかにしました。

「常に火事場のような忙しさなので、古い図面を利用しなくては仕事が進まないこともしばしばあります。これは、重大な設計ミスにつながる可能性があります」

「満足できる早さで見積もりを提出できません」



顧客を満足させて利益幅を大きくするには、2番目の選択肢が理想的です。しかし、特にカスタム設計のプロセスが管理されていない場合は、成長に伴う苦労も大きくなります。